

住まう茅ヶ崎を学び合う

お届けエコミュージアム！

松林丸ごとふるさと発見博物館

開催趣旨

「ちがさき丸ごとふるさと発見博物館」事業（以下、丸博）は、茅ヶ崎市全域を屋根も壁もない博物館に見立て、文化・歴史・自然・人など、有形無形のまちの宝もの（これらを都市資源と呼びます）を調査研究し、その魅力を発信する取り組みです。都心のベッドタウンで精力的な活動を展開する「都市型エコミュージアム」事業として、茅ヶ崎市全域を対象にした市民による「学び」の活動は、市外・県外からも高く評価されています。

そんな丸博が行う名物企画「エコミュージアムの企画展」第6弾は、市内の「ある地域」にフォーカスし、地域の魅力を再発見するアプローチに初挑戦。

舞台となるのは、深く豊かな文化・歴史・自然が、日ごろのなにげない暮らしの中に息づく「松林」。

地域の「学びの拠点」である松林公民館と、そこを中心とした周辺地域の都市資源に関する講座やまち歩き、参加者がまちの魅力を大きなマップに書き込んでいく企画など、みんなで地域を知り、学び合う機会をたくさんご用意しています。企画展に参加して、地域の都市資源が持つ、価値や意味、魅力を掘り起こしましょう。

企画展ロゴマークについて

「松林（しょうりん）」という名前のイメージを出発点に、針葉樹林の地図記号をモチーフにして、都市資源のつながり、人のつながり、道のつながりを、一筆書きで表現しました。茅ヶ崎の代表的な都市資源、姥島（えぼし岩）も連想させるシルエットに。企画展を通して、新たなヒト・モノ・コトがつながってほしいという思いを込めました。松林公民館のロビーでは、高さ約3mのロゴマークオブジェが、皆さんをお迎えします。



まるはく 丸博の運営体制について

丸博は、市民と行政の協働事業推進体制のもと、さまざまな「住まう茅ヶ崎を知る」活動を展開しています。この企画展も市民ボランティアが中心となって盛り上げます。そんな「活動そのもの」を知っていただく企画もご用意しています。

11

『Maruhaku TVを観る会』

- 2月20日（火）16時～16時45分（第1会議室）
- 2月21日（水）10時～12時（第2会議室）
- 2月22日（木）10時～12時（第2会議室）
(いずれも事前申込なし・当日先着20名)

茅ヶ崎について学ぶことができる映像の上映や、丸博の具体的な活動についてご紹介。エコミュージアムの「たのしさ」をお届けします！



松林公民館

松林公民館は、茅ヶ崎市で3番目に開館した公立公民館です（昭和58年5月6日開館）。地域の皆さんに愛される、地元に根付いた公民館です。

9

松林公民館の石窯を囲んでお話ししよう!!

- 2月20日（火）13時30分～15時

松林公民館裏庭（事前申込なし・当日先着10名）
(雨天中止・石窯で焼いてみたいものがある方はご持参ください。)

石窯の火を囲みながら、公民館の楽しさや活用方法について、松林公民館の職員がお話しします。その他、地域のちょっとした話題など、みんなで楽しくおしゃべりしましょう。すでに公民館を利用されている方にも、初めて訪れる方にも、公民館をもっと身近に感じていただけるはずです。